

## 指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成29年4月1日～令和3年3月31日)

### 1 基本情報

施設名称	千葉市民活動支援センター	
条例上の設置目的	千葉市民活動支援センター設置管理条例(抄) 第1条 本市は、市民公益活動(本市において不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的として行われる活動をいう。)の促進を図るため、次のとおり千葉市民活動支援センターを設置する。	
	名称	位置
	千葉市民活動支援センター	千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館9階
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	当該施設におけるボランティア情報の提供や相談事業の利用を通じて、ボランティア団体の支援や市民のボランティアを始めるきっかけづくりをすることで、市民公益活動を促進していく。	
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<b>【市民公益活動の拠点施設】</b> (1) 市民公益活動のための施設の提供 (2) 市民公益活動に関する情報の収集及び提供 (3) 市民公益活動を行うもの相互の間及び市民公益活動を行うものと関係機関との間の交流及び連携の促進 (4) 市民公益活動に関する相談	
制度導入により見込まれる効果	民間の視点を活かした、施設のより効率的な活用と利用者への柔軟な対応による、施設利用者の増加と、市民のボランティア活動・市民公益活動への参加促進。 また、民間のノウハウを生かすことで、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、都市型ボランティアの参加促進を行い、開催後も継続的なボランティア活動を促す。	
指定管理者名	まちづくり千葉・リベルタちば・まちづくり商会共同事業体	
構成団体 (共同事業体の場合)	特定非営利活動法人まちづくり千葉	
	リベルタちば	
	株式会社まちづくり商会	
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年)	
所管課	市民局市民自治推進部市民自治推進課	

### 2 成果指標等の推移

#### (1) 会議室利用件数(成果指標1)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	平均
実績値	779団体	735団体	728団体	446団体	672団体
数値目標※	740団体	745団体	750団体	755団体	747.5団体
達成率	105.3%	98.7%	97.1%	59.1%	90%

#### (2) 談話室利用件数(成果指標2)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	平均
実績値	767団体	780団体	729団体	383団体	664.8団体
数値目標※	670団体	675団体	690(680)団体	700(685)団体	683.8団体
達成率	114.5%	115.5%	105.7(107.2)%	54.7(55.9)%	97.6%

## (3) 登録団体数 (成果指標3)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
実績値	756団体	790団体	803団体	769団体	779.5団体
数値目標※	720団体	725団体	730団体	735団体	727.5団体
達成率	105%	109%	110%	104.6%	107.2%

## (4) 施設利用者数 (成果指標4)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
実績値	17,991人	17,532人	15,979人	7,166人	14,667人
数値目標※	18,400人	18,500人	18,600人	18,700人	18,550人
達成率	97.8%	94.8%	85.9%	38.3%	79.2%

## (5) ボランティア募集情報掲出数 (成果指標5)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
実績値	710件	689件	685件	678件	690.5件
数値目標※	360 (350)件	370 (360)件	400 (380)件	450 (390)件	395件
達成率	197.2 (202.9)%	186.2 (191.4)%	171.3 (180.3)%	150.7 (173.8)%	176.4%

## (6) 都市型ボランティア育成数 (成果指標6)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
実績値	16人	40人	21人	1人	19.5人
数値目標※	30人	30人	30人	30人	30人
達成率	53.3%	133%	70%	3.3%	65%

## (7) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
専門家による個別 相談件数	56件	39件	42件	27件	41件

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

### 3 収支状況の推移

(単位：千円)

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	19,218	19,140	19,200	19,372	76,930
			計画	19,218	19,140	19,200	19,372	76,930
		利用料金	実績	0	0	0	0	0
			計画	0	0	0	0	0
		その他	実績	0	0	0	0	0
			計画	0	0	0	0	0
	合計	実績	19,218	19,140	19,200	19,372	76,930	
		計画	19,218	19,140	19,200	19,372	76,930	
	支出	実績	19,218	19,688	18,271	18,942	76,119	
		計画	19,218	19,140	19,200	19,372	76,930	
収支	実績	0	△548	929	430	811		
自主事業	収入	実績	964	919	932	521	3,336	
		計画	1,002	1,156	1,266	1,196	4,620	
	支出	実績	904	968	883	487	3,242	
		計画	883	1,140	1,179	1,116	4,318	
	収支	実績	60	△49	49	34	94	
総収入	実績	20,182	20,059	20,132	19,893	80,266		
総支出	実績	20,122	20,656	19,154	19,429	79,361		
総収支	実績	60	△597	978	464	905		
利益の還元額	実績	0	0	0	0	0		
利益還元の内容								

#### 4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設の休館や利用制限を行った影響もあり、登録団体数及びボランティア募集情報掲出数以外は目標値を大きく下回ったが、その他の年度については、概ね目標を達成していたため。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	選定時の提案書に基づき各年度の事業計画書が作成されており、指定管理料の削減率は5%に満たないため。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	概ね管理運営の基準・事業計画書に定める水準通りに管理運営が行われているため。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	提案通りの執行体制をとっていることに加え、従業員に対して積極的にセンター主催の講座への参加を促したり、内部研修の実施による従業員の能力向上に努めるなど、人的組織体制の充実が適切に行われているため。
(2) 施設の維持管理業務	C	施設内の照明器具全てのLED化や市の備品である紙折機等の修理及び維持管理が適切に行われているため。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	B	設置管理条例に規定する時間に加え、提案書どおりに日曜・祝日を除いて午後9時まで開館しているほか、施設SNSを効果的に活用しているため。
(2) 利用者サービスの充実	C	談話室への吊り下げ型スクリーンの設置やホームページのリニューアル、施設案内のリーフレットの改訂等によって、利用者サービスの充実に努めているため。
(3) 施設における事業の実施	C	施設PRのために、情報誌「ちばさぼ通信」の配架先を拡大しているほか、令和元年度末からは、コロナ禍においても参加者が参加しやすいよう、オンラインを活用した講座やイベントを積極的に行っているため。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	概ね管理運営の基準・事業計画書に定める水準通りに管理運営が行われているため。

総合 評価	C
----------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

## 5 総合評価を踏まえた検討

### (1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<p>施設利用者数や都市型ボランティア育成数については、成果指標が未達成である年度が多いものの、会議室・談話室利用件数や登録団体数、ボランティア募集情報掲出数については、概ね目標を達成している。</p> <p>また、指定管理者のノウハウを活かした相談対応や講座・イベントの実施などによって、市民のボランティア活動及び市民公益活動への参加促進に尽力してきたと言える。</p> <p>その他に、利用者アンケートからは、職員の対応や講座内容など、施設の全体的な利用者満足度は高く、利用者からの高い評価を得られていることが読み取れ、民間活力を活かした創意工夫が図れていたと考えられる。</p> <p>以上のことから、指定管理者制度導入により見込んでいた効果を概ね達成できているものと判断できる。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

特になし。
-------

### (3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

### (4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>ア 指定管理者制度の導入効果として、当初見込んでいた効果が達成できており、指定管理者制度の継続が望ましいと判断されるが、財務状況に一部懸念があるため、指定管理料の精査を検討されたい。</p> <p>イ 成果指標でもある登録団体数や団体の活動状況の正確な把握に努められたい。</p> <p>ウ まちなかボランティア養成講座の修了者について、受入団体のあつ旋など、継続的なボランティア活動を支援する仕組みを検討されたい。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------